

令和7年度 学校評価の4点セット [1学期]

		学校名		別府市立青山中学校								
【学校の教育目標】					自ら学びに向かい、協働して課題解決する青中生の育成							
【育成を目指す資質・能力】					「基礎基本的な知識・技能」「問題解決能力」「協働性」							
重点目標	担当	資質・能力			達成指標	分担	重点的取組	取組指標	取組状況の評価	達成状況の評価	改善点	
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	学習に向かう人間性								
基礎基本的な知識・技能の定着	教務主任・研究主任・各教科主任	○			○定期考査において、 30点未満の生徒の割合 が20%未満 ○別府市学力調査において、「基礎」の正答率が母体平均以上	学校	○基礎基本の定着に向けた補充学習の実施	○毎日10分間のドリルタイムを年間を通して実施する ○ 定期考査前 に、補充学習の時間を設定する ○単元ごとに1回以上、小テスト等により定着状況を把握する。				
						家庭	○家庭での学習時間の確認	○保護者による家庭学習時間点検を実施する(1学期1回、2学期2回、3学期1回、各1週間)				
他者の思考力・判断力・表現力・協働して考えを深める育成	教務主任・研究主任		○	○	○「他者の意見を聞き、考えが深まったり、広がったりした」と感じる生徒…50%以上(R6年7月54.9%、12月58.6%) ○別府市学力調査において、「活用」の正答率が母体平均以上	学校	○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 【授業改善の重点】 ①「めあて」「課題」「まとめ」「ふりかえり」の設定 ②学び合いの場(ペア・グループ等)の設定 ③ICTの効果的な活用	○「授業改善の重点」を踏まえた授業を日常的に実施する ○全教員が年間2回以上の公開授業(一人一実践・互見授業)を実施する				
人間関係形成力の育成	生徒指導主事・教育相談CN			○	○生徒アンケートで下記項目の肯定率80%以上 「自らすすんであいさつするよう心がけている」「ルールやマナーを意識して学校生活を送ることができている」「相手の気持ちを配慮した言葉遣いができている」	学校	○人間関係づくりに係るスキル向上のための取組の実施	○「人間関係づくりプログラム」を2週間に1回以上実施する ○マナー検定を、全学年で実施する ○学年ごとに、「ことばについて考える週間」を学期に1回以上実施する				
						家庭	○家庭内でのあいさつの実践	○保護者から子どもへ積極的なあいさつを行う				
						地域	○あいさつ運動の実施	○毎月1日の朝、学校・PTA・地域の三者によるあいさつ運動を行う				
【子どもと向き合う時間の確保に向けて】												
校務の効率化	校長・教頭	○ 教職員の時間外勤務時間の平均が、令和6年度以下 (勤怠管理システムにより比較) 令和6年度9～12月平均 31.1時間				学校	○勤怠管理システムによる適正な勤務時間管理 ○教職員の意識改革	○運営委員会において、月1回勤務実態に基づいて改善策を協議する ○毎月1回ノー残業デーを設定する				

※評価(S:100%超過 A:80%以上～100%以下 B:60%以上～80%未満 C:60%未満)